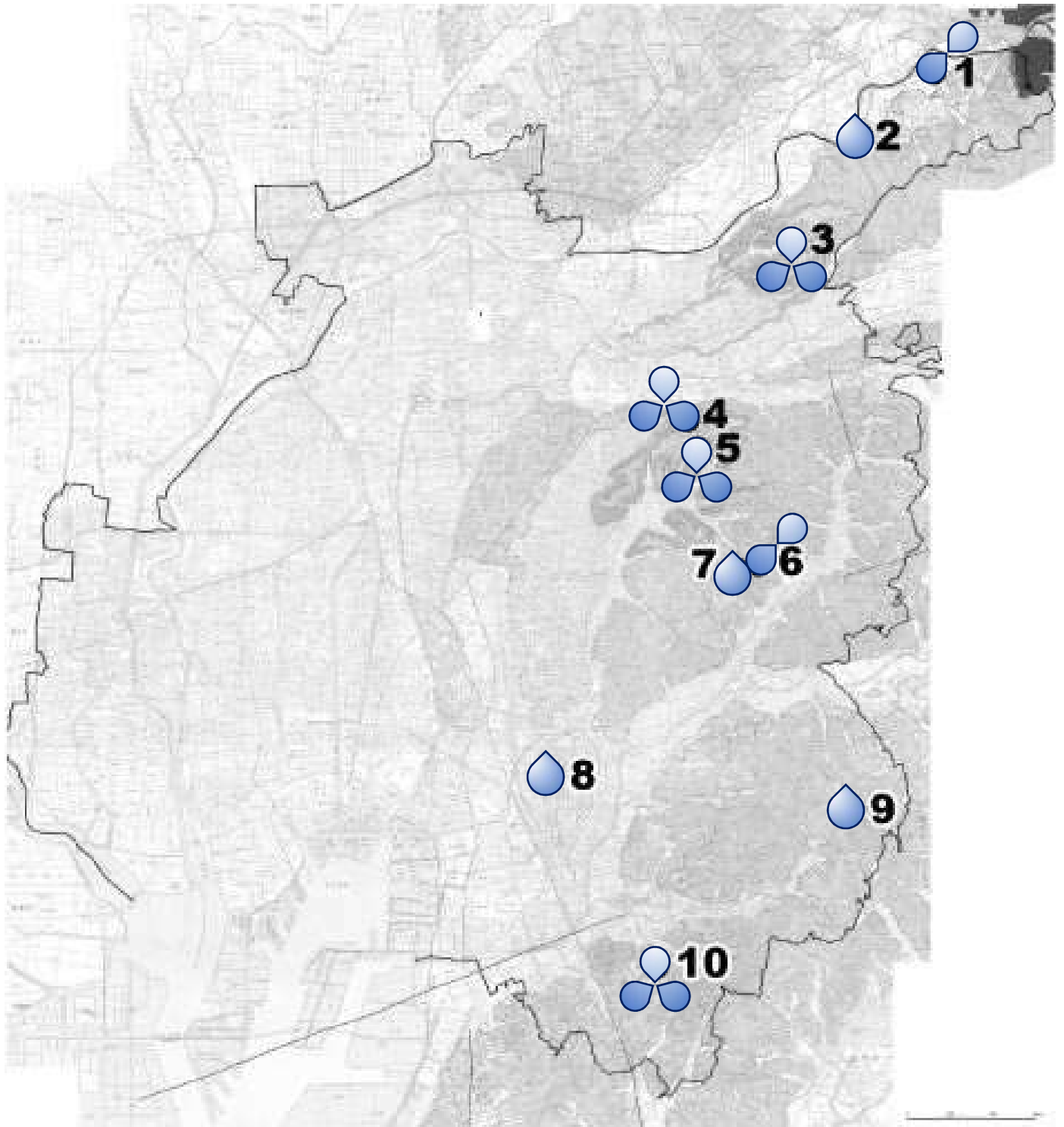


令和4年度秋季結果まとめ

No.	地点名	調査日	調査時刻	気温 (℃)	天気			水量			水温 (℃)	pH	COD (mg/L)	硝酸態窒素 (mg/L)	鉄 (mg/L)	マンガン (mg/L)
					当日	前日	前々日			計量できる場合 (mL/min)						
1	中志段味	10月21日	10:00	18.2	晴	晴	晴	2	小流れ	—	16.5	5.3	0	0.6	1.0	0.3
2	吉根	11月27日	11:52	18.5	晴	雨のち曇	晴	3	しみ出し 程度	244	18.3	6.0	2	<0.2	<0.2	<0.5
3	小幡緑地	11月5日	9:55	10.5	晴	晴一時曇	晴	1	多量	3,000	10.0	6.5	6	<0.2	<0.2	<0.5
4	茶屋が坂	9月14日	13:35	28.0	晴	晴	晴のち曇	1	多量	4,545	22.0	6.5	0	1.5	5.0	0.5
5	本山	11月4日	15:05	31.0	晴	晴	晴	1	多量	3,750	18.0	5.7	3	0.4	0.0	0.0
6	東山	11月8日	10:15	16.0	晴	晴	晴	2	小流れ	1,060	15.8	5.5	0	0.0	0.0	0.0
7	八事裏山	11月5日	10:40	14.6	晴	晴	晴	3	しみ出し 程度	5	14.5	6.0	>8	0.0	1.0	0.0
8	呼続	10月29日	17:00	18.5	晴	晴	晴	3	しみ出し 程度	—	14.5	7.0	6	0.5	0.2	0.5
9	神の倉	10月30日	10:20	17.7	晴	晴	晴	3	しみ出し 程度	—	15.5	6.0	0	<0.2	0.2	<0.5
10	大高	11月10日	8:40	12.0	晴	晴	晴	1	多量	3,750	16.1	5.0	2	2.0	0.2	0.5

No.	地点名	コメント
1	中志段味	ミナミメダカ、アメリカザリガニがたくさんいる。
2	吉根	落ち葉や枝など散乱していました。 藻が沢山付着していました。あまりに多いので調査にあたり、タワシで剥ぎ取り洗浄しました。 湧出箇所では、砂が堆積しており、細かな砂が湧き上がって、最初は少し濁っていましたが、時間とともに、砂が外部に出て、澄んだ水になりました。
3	小幡緑地	数日晴天が続いていましたが、水量はそこそこありました。紅葉が進んでいて落ち葉が多かったです。水質そのものに気になる特徴や兆候はありませんでした。集水口や水路は落ち葉が取り除かれていて、晴天続きで周囲が乾燥していたので、水の流れがよく見えました。写真上からは湧水が流れ着いてますが、下からは来てません。集水口から水路を60m(60歩)ほど遡ったところで水がしみ出しているのが分かりました。この地点より上流は落ち葉が濡れてませんでした。測定は難しそうですが、水量や水温はここで測れた方が湧水調査らしくなるのかなと思います。
4	茶屋が坂	
5	本山	水量は変わらず多い。 マンガンがこれまでより反応が出ていないと感じられた。
6	東山	例年、水量は、夏季と比較して倍くらいとなっているが、金明水の周辺のぬかるみは、夏季より少なかった。また虫や動物など生き物の気配はなかった。
7	八事裏山	林道は乾燥しており湧水地付近はぬかるんでいた。樹木の葉の茂りはだいぶ落ち着いていた。 量はかなり少ないが、きちんと水がしみだしており、下の小川も流れはないものの、大幅な水量の減少はみられなかった。 樹木の芽生えやヤゴ、サルノコシカケなどを観察できた。
8	呼続	
9	神の倉	〈湧水量について〉 A部からの水滴の落下は、a部から2秒に1滴程度で前回(8/20)より少し多い感じだが、御手洗場の水位は前回より少し下がっており、湧水量が増えているのかどうかは分からない。B部からの水の流出については、先回と同様に水滴の落下が見られず、水が流れ出る音も確認できなかった。御手洗場の水位が前回より少し下がっているが、人為的に水が汲み出されている形跡があり流出量、流入量との因果関係は分からない。 したがって、湧水量の変化は御手洗場の水位から判断することはできない。 A部は遠くて確認しづらいため、結局C部の定性的な変化を見ることになるが、これまで顕著な変化は確認していない。 〈水温について〉 昨年と同じような状況であり、特筆すべきことはない。
10	大高	白玉星草が雑草内に咲き誇っています。





 : 多量

 : 小流れ

 : しみ出し程度

 : なし